

# 観光を語る

# せたな町の観光の今、そしてこれから

## せたな町の観光の現状は

**高橋町長** 旧町時代から特色のある観光事業の展開をしてきましたが、それが一つになり、それぞれが持っている観光資源をこれからどのように観光に結びつけていくか、最近の燃料や物価の上昇を受けて観光客の足・動きが微妙に変化してきている状況を十分頭に入れたなかで、新たな観光産業を町としてしっかり作っていく必要があると考えます。今まではどちらかというと通過型の観光客が主体でしたから、なんとか町に滞在していたく、そういった観光のあり方を模索していかなければなら

いと思っています。

## 各産業が連携して観光を新たな産業の一つに

**桜井会長** 私も当然、滞在型観光にしていきたいというのが望みですね。交流人口を増やすことがその前にあるので、今の時代、重要なのがインターネットを使った情報発信で、観光協会でも今準備しているところです。それと、観光産業という位置付けがまだ町民全体の中に根付いていないと感じています。今、景気が低迷しているなかで、観光が起爆剤になればと思っています。農業・漁業・商業がもつと連携をして、町民の皆さんにも



↑観光協会ホームページ完成イメージ

観光に対する意識を持ってもらい、新たな観光産業を生み出していければと思っています。観光産業を新しいせたなの産業の一つに定着できるように、町長や町民の皆さんと環境整備から取り組んでいきたいと思っています。



◆スペシャル対談

せたな観光協会長  
**桜井 明雄** さん

&

せたな町長  
**高橋 貞光**

北海道洞爺湖サミット最終日の7月9日（水）、せたな町長とせたな観光協会長のスペシャル対談が実現しました。テーマは、「観光」。その内容をご紹介します。



**観光の課題から  
 見えてくるもの**

**町長** 一つ一つの観光資源だけをとらえるとたくさんいいところがありますが、果たしてそれだけで滞在型の観光客を誘致で

きるかといえれば必ずしもそうではない。したがって町の産業である漁業、農業の体験を含めて、総体的に観光事業をきちんと作り上げる必要があると思います。あわせてお土産や特産物、すでに有名なものもあるので、こうしたものも十分活用していかなければならぬと思います。ここに行くときたな町のお土産は買えるよ、と言えるような物産館的な施設も考える必要があるだろうと思います。それには初期投資はかかりますが、一つ一つの観光資源をきちんと体系づけていくことが重要だと思

います。それには初期投資はかかりますが、一つ一つの観光資源をきちんと体系づけていくことが重要だと思

**会長** 私も食の問題、地産地消の部分だと思いますね。たくさんあるいい素材をどう活かすかといったことは、今、行政と観光協会のなかでも検討していますが、ただ、いくら行政が言ってもやるのは民間の側です。結局それがお金に変わるといふことで、民間はそれのことに自分ごとだと認識する必要があります。今のお客さんとはとてもこだわりのあるので、そのこだわりの二ツズに比べられる場所をたくさん作れば

いいと思います。もう一つは雑誌やテレビなどメディアが取り上げてくれるような話題のある観光づくりがいいのではと思っています。それが、今、せたな町で作っている面白いポスターと話題性のある観光メニューがマッチングするんじゃないでしょうか。面白いと思わせるようなものと美味しいものを提供する、それともう一つはおもてなしの心ですね。その3点がそろえばいい観光産業ができると思います。

**町長** 有名な観光地と違って大きく集客できるようなものがないんですよ。一つ一つはあるけれども、要するにリピーターを呼び込めるような状況ではない。しかし、釣りやパークゴルフなんかは、何度も来ていただけけるような状況になってますね。こうしたものを十分活用していったほうがいいと思うし、イベントにしても合併したことによって、7月、8月にかけては毎週のように開催しているの、こうしたことを組み合わせることによって、いぶん集客力が向上すると思います。将来に向けてまだまだ知恵のしほりどころがたくさんあると思います。

**面白い・美味しい・おもてなしの心プラス  
 環境に配慮で観光を力強く**

**会長** 僕は、家の周りをきれいにするだけでも観光に対する協力だと思っんですよ。家の周り

をきれいにするというのは、花を植えたり、もちろんゴミはななくして環境に配慮した街づくりをしていくことが、これから非常に観光には関係あると思うんです。町には風車が10本もありますし、環境に配慮したまちづくりということも加味すれば観光自体がもっと力強くなる。そこで町長も胸張ってそれをPRしていただき、町民の皆さんにもそういう意識の高揚をしていただければ、自ずから観光につながっていく。恵庭には有名なガーデンングがありますね。あれは町内会で一生懸命競い合っていて素晴らしいガーデンングをしている。あれも一つの観光づくりですよ。それをお客さんが見に来るんです。あれは行政がやれと言ったわけじゃないです。やっぱ町民の皆さんの力ですよ。町の花、水仙を町民の皆さんでたくさん植えていくなど、時間をかけて将来構想も作らなきゃならないと思います。

**観光は大きな産業**

**町長** とにかく各団体でそれぞれソフト事業の展開をしてもらいたい。5月末にワタミの郁文館修学旅行の受入れを行っていますが、経済効果を単純に試算すると一千万円近い数字になるうかと思えます。この修学旅行のような事業をオフの時期にも受入れできれば、大きな経済効果と町のPRにもつながるん